



発行所
株式会社 カグヤ

第204版



暑中お見舞い
申し上げます。

竹取新聞は、「子ども第一義」の理念のもと、皆様の保育に少しでもお役に立てたらとの思いでお届けしている新聞です。お客様との素敵な保育実践はもちろん、マネジメントや働き方、子育てや暮らしのあり方、社内の取り組みやウェブ・IT支援まで、カグヤの実践を発信しています。明日から真似できることや、挑戦する勇氣につながることを大切に発刊しています。

竹取新聞に関する皆様のご意見や
ご要望をお聞かせください！

ご意見箱



竹取新聞以外のご意見も
お待ちしております。
お電話やメールでもOK！

03-3518-6217
info@caguya.co.jp

時代に合った情報発信

近年、スマートフォンの普及により、多くの人がSNSを利用するようになっていきました。それに伴い、園でもインスタグラムなどのSNSを通じて、日々の活動や行事の様子を発信することが一般的になってきました。SNSは、リアルタイムで写真や動画を手軽に投稿できるため、ブログよりも更新しやすく、園職員にとっても負担が少ない点が魅力です。

では、ホームページはもう必要ないのでしょうか。実はそうではありません。ホームページは、園に関する情報をまとめた「総合案内所」のような役割を担っています。園の理念や教育方針、入園案内などを整理して掲載することで、保護者が安心して園について知ることができます。

一方で、SNSは「園の広報担当」のような役割です。ホームページに比べて多くの人に情報が届きやすいため、幅広い層に園の魅力を届けることができます。これから園を考えている方や、園で働きたい求職者にとっても、園の雰囲気を知るきっかけになります。また、在園児の保護者が子どもたちの様子を気軽に知ることができる点も魅力です。

これからは、ホームページとSNSの役割を理解し、使い分けていくことが大切です。「今の時代に合った情報発信」を行うために、弊社では新しいサービス「えんぷらす」を始めました。このサービスでは、ホームページ・SNS・職員採用サイトの3つのプラットフォームを連動させ、それぞれの役割を活かしながら、園の情報発信をサポートします。詳細はウェブセンターまでお問い合わせください。

（川岸）



保育室の壁面全体に沿ってブラレールが1周する姿に遊び心を感じます！

進化する保育室 ～子どもも大人も惹きつける遊び心～

壁面ブラレールには、子どもたちの挑戦したい気持ちや達成感を引き出す工夫も込められていました。楽しい雰囲気だけでなく、子どもたちがやってみたいと思える仕掛けや、発達を促す工夫が組み込まれていました。

私自身も息子とブラレールに夢中になっていることもあり、見学後には「自宅でもやってみたい！」という思いが膨らみました。そこで、見よう見まねで自作してみました。すると息子は、「きょうは、なにせん？」（今日は何線に乗ったの？）など聞いてくるようになり、遊びを通して会話が広がったように感じています。

実際に作ってみて感じたのは、自分自身が一番ワクワクしていたということです。これまで見たことのない世界に魅了され、完成しても「次は



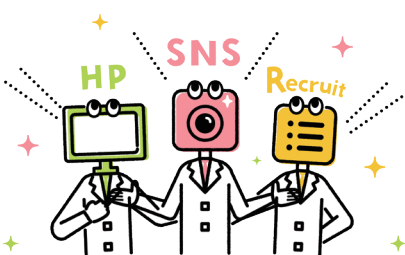
我が家では100円ショップのウォールラックを線路として使い、ブラレールを走らせています！

園のインスタグラムでは、遊び心溢れる日々の保育が投稿されています。ぜひ、ご覧ください。

（奥山 卓矢）

園のインスタグラムでは、遊び心溢れる日々の保育が投稿されています。ぜひ、ご覧ください。

（奥山 卓矢）



暑中お見舞い 申し上げます。

暑い日が続きますが、皆様がいかがお過ごしでしょうか。今回は夏を乗り切る日本の知恵を「五感の涼」の中から「味わう」に着目してご紹介いたします。暑さ厳しき折、皆様くれぐれもご自愛くださいませ。



スイカ、キュウリなどのウリ科野菜、生姜、そうめん、梅干し、ところてんなど

昔から旬の食材をとり入れ、その季節ならではの体の不調を補う考え方があります。例えば夏が旬のスイカは水分とカリウムが豊富で、熱中症予防やむくみ解消に最適です。また、同じく旬の生姜は、良く知られている発汗作用の他にも消化器系の働きを良くする作用もあるため、暑さで食欲のないときに摂るのも良さそうです。

今年はそんな「スイカ」の目からウロコ！な切り方と「生姜」を使った「冷やし飴」を実際につけてみたレポートをお届けさせていただきます。どちらも手軽に取り入れやすい方法ですので、是非お試しください！

★レシピはこちらからご覧ください↓



冷やし飴の炭酸割



すだれ、よしず、緑のカーテン、のれん、花火、金魚鉢など



蚊取り線香、夕立のにおい、森の香り、潮風、ハッカなど



いぐさ、打ち水、うちわ、行水（プール）、扇子など



風鈴、川のせせらぎ、滝、波の音、虫の音など

一期一会庵

新体制のご案内

竹との関係性が深い七夕の大切な時節に、このたび株式会社カグヤは新たな経営体制へと誕生しました。野見山広明は代表取締役会長に就任し、眞田海が代表取締役社長に就任します。

なぜ今、代表を交代するのかと、世代交代や事業承継かと聞かれますが、これは日頃から取り組んでいる「初心伝承」や「甦生」の実践の一つです。

そもそも自然界には永遠に同じ姿のままで存在するものはありません。これを諸行無常ともいいますが、実際には変化しない存在はありません。植物でも人間でも誰でも生死は形を変えては循環します。しかし、よく観察するとその「いのち」は姿を変えては永続し続けます。つまり徳は循環することで永続しています。

三重県にある伊勢神宮に千三百年以上続いている「式年遷宮」というものがあります。これは二十年ごとに社殿を建て替えながら、技術も祈りも精神も受け継がれていく知恵の実践です。これにより新しくなるのは建物だけではなく、そこに携わる人が育ち、次の役目へと移り、その人がまた次の世代を育てていく初心伝承や甦生の実践です。どんなに変化しても、そのいのち

や徳は一切変えずに伝承していくという仕組みの知恵で、神道ではこれを常若と呼んでいます。どんな時でも目的や志は変えない、そのために変化を受け容れるという実践です。

以前、社員たちと日本に現存している数百年以上続く老舗を研究、訪問し、勉強したことがあります。どの老舗も、暖簾の信用や信頼を守り、目的や志は変えずに今の時代に合わせて体制を次々と変化させていました。

私たち株式会社カグヤは創業以来二十四年、「子ども主体」の保育を通して、未来の子どもたちが安心して暮らせる社会を目指し経営してきました。これからもそれを変えるつもりはありません。新体制は、その使命を果たすための新しい一歩でもあります。これまでカグヤをずっと支えてくださった皆様への感謝や御恩返しに誠実に取り組んでいくためにも、これからは「子ども第一義」の初心を忘れることなく、さらに徳を循環させ、育つ場を醸成し、新たな甦生の歩みが続けていきます。

私は社長という役目を眞田へ託し、これからは会長として、その初心を育み、人を育て、未来へつないでいく役目を担います。役割は変わっても、志は変わりません。

初心は、言葉で教えるものではなく、生き方によって伝わるものだと信じています。時や人が変わっても初心が永遠に生き続ける子どもたちを見守る会社でありたい。今後とも、有難い見守りをどうぞよろしくお願いいたします。

（野見山広明）

夏期実践休暇のお知らせ

2026年8月13日(木)～8月16日(日) 8月17日(月)より通常通り営業いたします

